



病後児保育だより (第6号)

令和6年11月 病後児保育室(湯沢乳児健康支援センター)



病後児保育室

ホームページ



QRコード

肌に触れる風もだんだんと冷たくなり、晩秋の気配が感じられるようになりました。冬に向けて心も体も元気に過ごせるよう生活リズムを整えて風邪の予防をしていきましょう。

9月・10月の病後児保育室利用者罹患状況
手足口病・上気道炎(風邪)・RSウイルス感染症・火傷

ウイルス、どうやってうつる?

風邪のウイルスは、感染している人の咳やくしゃみ(飛沫)と共に飛び散ります。ウイルスのついた手を介して目や鼻、口からウイルスが体内に入ったりすること



手を洗ってウイルスを洗い流そう

ウイルスが手についても、洗い流せば感染のリスクが下がります。手を洗うときは、せっけんをしっかりと泡立てて、指の間、指先までしっかり洗い、流水でよく流しましょう。

ウイルスのついた手で、目や鼻、口を触るとウイルスが体内に侵入します。

感染!

正しい手洗いしてますか?

手洗いは風邪や感染症の予防にもつながります。30秒くらいかけて、隅々までいいねいに洗うことが大事です。



インフルエンザの予防接種が始まりました

2回の接種が必要

小さな子どもは免疫がつきにくいので、2回の接種が必要です。効果を十分に上げるためには、1回目の接種と2回目の接種の間は4週間あけるとよいとされています。

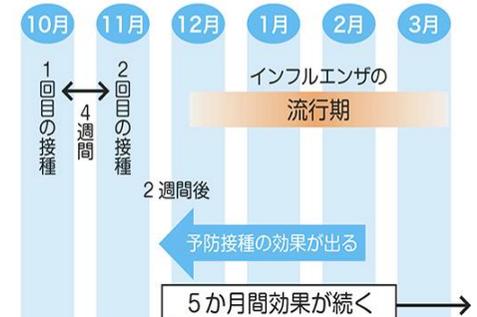
効果が十分に出るのは2回目接種から約2週間

乳幼児は有効な免疫ができるのに2回目接種から2週間かかります。

効果は約5か月間持続する

インフルエンザの予防接種の効果は、約5か月。10月から接種すれば、流行の始まりからしっかりカバーできます。

インフルエンザの予防接種の特性を知って、早めに接種を受けましょう。



→ 10月中に1回目の接種を受けましょう